

熊本大学 国際先端研究拠点

幹細胞を用いた臓器再建と次世代医療・創薬を目指す国際的研究教育拠点

拠点リーダー 西中村 隆一

概要

生命科学系の本統合拠点は、幹細胞を用いた臓器再建および次世代の医療・創薬を目指した先進的な研究教育拠点を形成するものである。

我々は、21世紀COEおよびグローバルCOEで推進した「細胞系譜制御」研究によって、細胞の発生分化、器官形成などの課題解決のための学術活動と人材育成を図ってきた。これは、ES細胞とiPS細胞、組織幹細胞の医学応用への期待に対して、まさに先駆けとなる役割を果たした。また、学内の拠点形成研究Aによって、「細胞系譜制御」に加えて、「幹細胞」「発生再生医学」を含めた先端的研究と若手研究者育成を強化した。さらに、国際競争力のある触媒的組織（リエゾンラボ）を構想して、異分野の学生・ポスドク・教員が一堂に集結して相互作用する優れた体制を確立した。

上記の諸事業の中核をなす発生医学研究所では、これらの成果の出口として、平成24年度に「臓器再建研究センター」および「リエゾンラボ研究推進施設」を設置し、先端研究の推進および研究支援体制の構築を行った。さらに、生命科学研究部と医学部附属病院、学内他部局との共同、国内外の研究機関との連携を一段と強化しているところである。この活動実績を総合して、本拠点では、部局の枠を超えた生命科学系の発展を促進するとともに、幹細胞を用いた臓器再建の基礎研究、次世代の医療・創薬の展開を目指した研究教育拠点を形成する。

活動内容

- **エンカレッジプロジェクト**
拠点到所属する助教、特任助教、ポスドクを対象とした研究費支援。若手研究者から独自の研究提案を公募し、優秀な人材を選抜して、競争的な研究経費の配分を行う。
- **研究成果発表に係る費用の支援**
拠点到所属する若手研究者(助教、特任助教、ポスドク、大学院生)の研究成果発表に係る費用を支援する。(1) 学術集会参加に係る旅費、日当、宿泊費及び参加費 (2) 若手研究者の筆頭あるいは責任著者論文の別刷費
- **拠点到所属する准教授、講師、助教主導のミニシンポジウム支援**
招聘演者の国内旅費、宿泊費等を支援する。
- **海外研究者招聘セミナー支援**
別用務で来日中の海外研究者を拠点メンバーが熊大に招聘しセミナーを開催する場合、国内旅費、宿泊費等を支援する。必要度・予算によっては海外旅費の支援も可能とする。
- **学生インターンシップ支援**
- **リトリートの開催に係る費用の支援**
- **国際シンポジウムの共催**
- **拠点メンバー**

拠点リーダー	西中村 隆一	教授	発生医学研究所	腎臓発生分野
副拠点リーダー	丹羽 仁史	教授	発生医学研究所	多能性幹細胞分野
	江良 択実	教授	発生医学研究所	幹細胞誘導分野
	中尾 光善	教授	発生医学研究所	細胞医学分野
	甲斐 広文	教授	生命科学研究部	遺伝子機能応用学分野
	大槻 純男	教授	生命科学研究部	微生物薬学分野
	太田 訓正	准教授	生命科学研究部	神経化学分野
	石黒 啓一郎	准教授	発生医学研究所	染色体制御分野